

重点項目(3か年計画)

- 1 利用者満足の獲得
- 2 地域支援の定着
- 3 職員力・組織力の強化
- 4 安定した経営基盤の確立
- 5 施設整備および環境整備

1 利用者満足の獲得

- ・「新システム」「ICT機器」を活用し、利用者サービスの向上を図る
- ・介護報酬改定を受け科学的介護の導入を含め、積極的に各種加算を取得する
- ・新型コロナウイルス感染症対策を継続し、利用者の安全を最優先する
- ・その上でコロナ禍の中でもできる利用者支援を検討し実施する
- ・サービス向上に向けた各種専門職種間会議を開催する(意見交換会)
- ・感染症対策、災害対策のBCPを策定し訓練を行う
- ・虐待防止、事故防止に全職員で取り組む

2 地域支援の定着 地域における高齢者支援拠点の役割を担う

- ・家族支援の視点から地域社会資源を検討し、介護者サロンなどを創出する。
- ・地域・行政・医療・介護事業所との連携強化
- ・食事サービスの拡充を目指す(コロナ禍でもできる地域への食支援を検討する)
- ・コロナ禍における新たな地域とのつながりについて模索する
- ・併せ、コロナ禍でのボランティアの再開に向けての検討をする

3 職員力・組織力の強化

- ・「新システム」「ICT導入」を活用した業務改善 結果超過勤務を更なる削減を目指す
- ・「新システム」をベースに更に他機器連動を検討する(介護ロボット・服やっくん導入)
- ・職員個々のスキルアップを図る(専門職種別職務要件および各種マニュアルの活用)
- ・適正な配置に向け、正職員×非常勤職員の役割を明確にする
夜勤パート/食事介助/入浴介助/介助業務を非常勤専門職員特化
- ・無資格者を中心に認知症の理解を深める研修を実践する
- ・安全対策担当者を選出しリスクマネジメントに取り組む
- ・ハラスメント対策を理解・共有し、安心して働ける職場づくりに取り組む
- ・風通し良い、働きやすい職場を目指す(スマイル・カードを本格運用する)
- ・離職者ゼロを目標とする

4 安定した経営基盤の確立

- ・各種事業目標稼働率の確保
特養:96% 短期:100% 通所:80% 認知症対応型通所:85%
- ・毎月の経営会議(第4月曜)での動向確認と対策の検討 超過勤務・水光熱費の動向確認
- ・各種加算の取得を法人横断連絡会での情報共有する
- ・適正配置への取り組みを継続する(高齢施設長会での共通課題として対応)
- ・導入したシステムを更に活用する(業務省力化・記録、会議、申し送り等の見直し)

5 施設整備と環境整備

- ・空調改修工事を安全に完了する(業者を交えた毎月曜の定例会で業務確認)
- ・エレベーターの改修工事(10月予定)
- ・近隣施設と連携し、災害およびオリンピック等の対応を検討する
- ・ご家族との憩いのスペースの設置検討